



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第113号】



秋の楽しい一日!

待
ち
に
待
つ
た



秋の遠足

心配だった天気も晴れて、今日は秋の遠足に六八四名はじめての列車遠足です。

南島原駅から本諫早まで、鳥鉄をせいかいで行く、車窓から見る雲仙の連山

「あ、鳥原城だ」「落岩ドームだ」

「あれが、北東斜面だよ」

子どもたちの発見の音が、車内に満ちる。

今年に恒例の「吾賢登山」「眉山一周」はできなかった。

県立諫早運動公園への

リフレッシュ遠足となった。

広い芝生、広い運動場……

さっそくお弁当だ。

ドッジボール、サカシ、バドミントン、バレーボール

ゲームとび……

思い思いの運動に花が咲く。

青い空に向かい、おそろいの子どもも、

高い空をなみよ——

明日へのエネルギーを、いっぱいたくわえ

遠足の一時が過ぎていく。

(平成三年十月二十九日)

三・五小の近況

教 頭

前 田 勝 義

体育館は避難場所、運動場は駐車場、授業は三小が午前中、五小が午後という二部授業でスタートした三・五小は、臨時休業をくり返し、とうとう一か月くり上げの夏休みへとはいり、普賢岳の鎮静化を願いました。

その間、五小では避難のため五〇〇名余り、三小では二〇〇名余りが南高来郡をはじめとして、遠くは東京方面の学校まで転校・仮転校のための転出児童が続出、さびしい日々が続きました。

夏休み終了、授業再開と同時に仮設校舎も完成、十二学級で再スタート、その後、普賢岳の活動が鎮静化の方向にあるという判断から児童の復帰がはじまり、現在は五小二十四学級と避難以前の状態にもどり、三小も仮転出児童二〇名余りを残すだけとなりました。

現在、同居中の三・五小は、教師・児童とも別々の学校ではなく、一つの学校としておかれた現状に打ち勝つため、お互いがゆずり合い、いたわり合い、協力を合言葉にがんばっております。

たのしかつた遠足



またいきたいです。とてもうれしかったです。すべりだいであそびました。おもしろかったです。



一ねん一くみ

おおば まさみ

えんそくで、おともだちができました。

きしやにのるとき、どきどきしました。えんそくで、しらないおばちゃんから、びでおをうつしてもらいました。えきについてからまいごになりました。えんそくにいつてから、ぐるぐるまわったか

一ねん一くみ

いづか しょう太

こうちようせんせいと、てをつなぎました。おもしろかったです。

ら目がまわりました。



二年一組

村 里

圭

きのう、わたしたちは汽車でいさ早のうんどうこう園に行きました。こう園はとても広かったです。あそびは、ハンカチおとしをしました。わたしは、「おとさないで、おとさないで」といいました。とてもおもしろかったです。

そのほか、すべりだいや、うんていや、とびごみみたいなのでいっぱいあそびました。とても楽しかったです。作りものの木に目や はなや口がついているのもありました。遠足はとても思い出になりました。また行きたいです。



三年一組
中村千秋

わたしがこんどの遠足で一番楽しかったのは、汽車にのったことです。初めて汽車にのったからです。わたしは、前の日から汽車にのるのをとても楽しみにしていました。それは、汽車にのったらなにか楽しいことがありそうだったからです。汽車のまどから知らない人に手をふりました。そしたらちゃんと手をふってくれました。とてもうれしかったです。その後楽しかったのは、帰りです。歩

きながらいろいろな歌をうたいました。汽車にのって帰りに、またいろいろな人に手をふりました。話をしてくれた人もいました。とても楽しかったです。また、いき

四年一組
松本優美子

わたしは、十月二十九日に遠足にいきました。列車でいく遠足なんて初めてなので、とてもドキドキしていました。

いさ早運動公園までは、坂道がたくさんあったのできつかったです。運動公園には、おもしろい物がたくさんありました。とくに公園のちよつとむこうのアスレチックがおもしろかったです。友達や

先生といっしょに遊びました。帰りは、ちよつと友達とケンカしちゃって、ちよつとさびしかったけど、とても楽しかった遠足でした。

五年一組
吉田奈津子

昨日は、初めての汽車遠足でした。遠足というより汽車旅行みたいな感じでした。島原の灰の町とちがって、諫早ではヘルメットも何もかぶらないでも安心でした。

諫早運動公園はとっても広くて、一面しばふでした。何だかとっても山おくに来たように思えました。ドッチボールをするのもしばふの上で、でも、線が書けないのがちよつと不便だなと思いました。で



— 本諫早駅にて —

も、しばふの上をくつしたで歩くど、とっても気持ちがいいです。今度の遠足も、どこでもいいからしばふのある所に行きたいです。



六年一組
小玉良昭

普賢岳のことで、いらいらとしていた時、おもいつきり遊ぶというので、諫早の運動公園まで遠足に行きました。今度の遠足は、どこに行くかよりも、どんな遊びをするかです。みんないつもより明るいなあと思いました。公園に行つて、フットベースや野球など、いままですれなかつた遊びをおもいつきりしました。ほくも、おもいつきり遊べてとてもよかったです。そして、みんなの顔もいきいきしていました。

育友会活動の経過と現在の状況

副会長
足立優子

八月一日より授業再開、九月一日から二学期の始まり、例年とは異なる学校生活を送っている子ども達は、三小・五小仲良く一つ屋根の下で元気に頑張っています。少しづつではありますが落ちつきを取り戻し、元気な声が校内に響きわたるこの頃の様です。

中断しておりました育友会も、会員の皆様の御協力により活動を再開する運びとなりました。降灰除去、自転車点検、五月の交通指導、会則検討委員会、広報誌「がんばん」の発行、りんごの皮むき大会、親子スポーツ町内対抗綱引き大会と無事実施することができました。尚、先日の綱引き大会では「親睦」を合言葉に普賢岳に負けることなく盛況に終わることができました。これもひとえに三小育友会のチームワークの良さとお理解の賜物と思います。これからも、山の様子を見ながらできることから育友会活動を実施していきたいと考えています。ますますの御協力の程よろしくお願い致します。

専門部の活動紹介

運動場の灰掃除

環境部長

小松 広海

風により舞い上がる灰を、すこしでも少なくできたらと運動場の掃除を行いました。午前中、三小・五小の児童のみなさんに、トンボで灰集めしてもらい、午後両校の先生・代議員の皆様により土のう作り、搬出に汗を流していただきました。まだ火砕流頻発の時期で心配をしていましたが、九月十五日を最後に大きな降灰もな



く、二度と灰掃除をしない方がいいように祈っています。ひどくなったら何度でもと、気持ちだけは山に負けないつもりで普賢岳に対したいと思います。



自転車点検

交通部長

池田正克

自転車点検御協力ありがとうございました。今年度は、普賢岳噴火で実施も難かしいのではと思われましたが、自転車屋さんの御厚意で各個人が持ち込むという形で点検を受け修理をさせていただきました。

ました。結果はベル四十四、ライト二十二、テール五、ブレーキ二、タイヤ二という具合でした。時折、無灯火や二人乗り、校区外への乗り出し等を見かけますが、今後公共交通の決まりを守り安全な生活がおくられるように御家族の皆様方の御指導を御願ひ申し上げますと共に、交通部長も頑張りたいと思います。

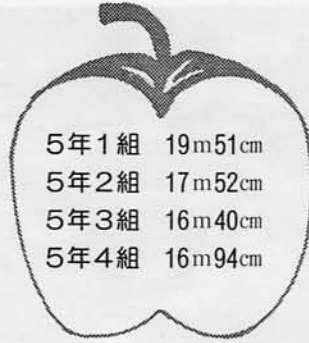
楽しかったりんごの皮むき大会

保健給食部長

黒田美子

十月二十四日、校長先生初め多数の保護者の出席をいただき、子ども達と一緒にりんごの皮むき大会を行いました。刃物を扱うという事で心配がありました。皆さんの協力を得て無事行えました事に感謝申し上げます。すでに上手にむける子、親指がうまく運ばない子、あまり力がいり過ぎて途中で休む子と、それぞれに一生懸命取り組んでいました。皮むき競争では親と子、先生が応援を受けながら、緊張の中で五分間、長さに挑戦しました。そして、最後に皆んなで食べたりんごの味は格別でした。

皮むき競争の結果



りんごの皮むき アンケートのまとめ



- *毎日、子供とリンゴの皮むき、スキンシップができました。
- *包丁の使い方が上手になり、家でもどんどんさせたいと思いました。
- *他のお母様方と会話もでき、うれしく思っています。
- *とても良かったので毎年して下さい。
- *楽しく過ごせました。リンゴの味が特別でした。

綱引き大会を 終えて

体育部長

古川 隆三郎

「ソーレ！ソーレ」、「ガンバレー」、「負けるな」普賢岳の噴火をうわまわる様な熱気と興奮が体育館中に響きわたりました。

親も子もたった一本のつなを全力で引き合い、汗を流し、声を枯らして応援し、それまで心の中に充満していた山への不満を一気に爆発させたようでもありました。

体育行事をはじめ全ての行事が中止をしていく中で、何とか子ども達に目的を持っていきいきと生活して欲しい、そう願って企画した親子スポーツつな引き大会、参加一五チーム、参加人員一〇三



山に負けな
力強い選手宣誓

○人と想像以上の大にぎわい、思わず力が入って「腰が痛い、腕が痛い」のお母さん。日頃育友会活動は母ちゃんまかせのお父さんが大活躍と成績はさておき、チームワークと親睦の一日でした。



普賢岳の終息までもうしばらく、皆さんで声を合わせて「オーエス、オーエス」、「がんばれー、負けるなー！」。

つなひき大会

一ねん一くみ

あおき あつし

あしにちからをいれて、つなをひきました。ぼくたちは、まけました。おべんとうは、おいしかったです。

一ねん一くみ

しもだ しんすけ

たたみのうえにせいざをしていたから足がしびれました。ひる、べんとうを二こたべておなががいっぱいになりました。だからやすみました。



ガンバレ！ ガンバレ！ 父母チーム



つな引き大会 優勝チーム

●低学年の部 白山町チーム
●女子の部 新山西チーム
●男子の部 坂上Aチーム
●父母の部 西八幡Aチーム
(普賢岳のことを忘れるほど楽しい一日、皆様お疲れ様でした)

三小生活指導 の取り組み

生活指導教諭

中村 清法

普賢岳の噴火活動も一年近くになりました。その影響で、子どもたちの学校生活にもさまざまな変化がありました。

三小と五小との同一敷地での学校生活の始まり、ヘルメットを着用しての登下校等と、四月ごろには想像もできなかったことです。

私たちはこの厳しい状況の中で、今まで以上に子どもたちの生活について注意を向ける必要があります。



す。その一つとして、三小と五小の間で生活指導を中心にして、毎週月曜日に意見交換会を開いています。子どもたちの生活のようすの気づきを話し合い、非行問題等の未然防止に努めています。

三小においては、生活委員会の子どもたちが中心になり、あいさつ運動を実施しています。心をこめて元気なあいさつができる子どもを育てようと思っていますが、まだまだ不十分なようです。

これからもさまざまな生活上の諸問題が起こると思われれます。金銭・万引き等の問題も含めて、全職員が智慧を出し合い、問題解決と事後指導のあり方について話し合い、生活指導に一丸となって取り組んでいます。

教育講演会のおさそい

日時 12月9日(月) 18:30～
場所 白山公民館
演題 「思春期の我が子とどうつき合うか！」
講師 広木克行先生
(総合科学大学教授)
共催 二中・三小育友会

編集後記

秋というのに、山では新芽を吹き、あちらこちらで季節外れの桜の花が咲いているのを見かけます。ふと、季節を忘れてしまいそうです。

朝起きると、普賢岳の方を見るのが日課になっている今日この頃です。がんばり一三号では、専門部の活動が少しづつ活気づいてきた様子や、待ちに待った子ども達が諫早で「汽車遠足」をする様子などをがんばり列車にのせてお届け致します。

これからも普賢岳に負けないように、楽しく明るい話題を発行できたらと部員一同思っております。

